



JASDAQ

平成 30 年 10 月 5 日

各 位

上場会社名 株式会社レイ
代表者 代表取締役社長 分部 至郎
(コード番号 4 3 1 7)
問合わせ先責任者 取締役 牧田 渉
(TEL 0 3 - 5 4 1 0 - 3 8 6 1)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 4 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 31 年 2 月期第 2 四半期累計期間 連結業績予想数値の修正(平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,800	180	170	110	7.68
今回修正予想 (B)	5,138	178	164	92	6.46
増減額 (B-A)	△ 662	△ 2	△ 6	△ 18	
増減率 (%)	△ 11.4	△ 1.1	△ 3.5	△ 16.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期第 2 四半期)	5,556	187	185	136	10.57

修正の理由

平成 31 年 2 月期の第 2 四半期連結累計期間の業績は、ポストプロダクション部門は編集スタジオが高稼働であり、TVCM (テレビコマーシャル) 部門におきましても受注が堅調であった為、業績も堅調に推移いたしました。一方で、SP (セールスプロモーション)・イベント部門、映像機器レンタル部門におきましては、第 2 四半期連結累計期間までの受注が想定したほど伸びませんでした。上記のような状況から、コストコントロールや経費削減等の施策を行ったものの、第 2 四半期連結累計期間の業績は上記予想数値となる見込みであります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、イベント・展示会等が多く開催される秋季期間は繁忙期にあたるものの、社外リソースも多く活用する時期でもあることから、コスト管理や経費削減等の施策は継続してまいります。不確定要素もあり、現時点での修正の予定はございません。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上